

## 議題2 納入組合からの小学校給食物資調達について

### (1) 給食の流れ・しくみ

給食実施の流れ

区 分	担 当 者	
	単独校（調理）方式学校	共同調理場方式学校
◆ 献立調理反省会	◆ 健康教育課＋調理業務員	◆ 栄養教諭等 (中学校所属・学校給食センター業務)
① 献立案作成	栄養教諭等(小学校所属) ◎ 健康教育課指導	栄養教諭等 ◎ 健康教育課指導
② 献立管理委員会	校長・教諭・栄養教諭等・ 調理業務員・ 公社物資課職員・ 健康教育課職員	校長・教諭・栄養教諭等・ 公社調理員・ 公社物資課職員・ 健康教育課職員・ 学校給食センター職員
◆ 献立決定	◆ 健康教育課	◆ 学校給食センター
③ 物資選定会	校長・健康教育課職員・ 公社職員・保護者代表・ 消費生活センター職員・ 農林水産局市場課職員	校長・健康教育課職員・ 公社職員・保護者代表・ 消費生活センター職員・ 農林水産局市場課所職員・ 栄養教諭等 学校給食センター職員
◆ 調理説明会	◆ 栄養教諭等→調理業務員	◆ 栄養教諭等→調理業務員
④ 食材料納入→検収	調理業務員 ◎ 栄養教諭等指導	公社調理員 ◎ 学校給食センター職員・ 栄養教諭等指導
⑤ 調理	調理業務員 ◎ 栄養教諭等指導	公社調理員 ◎ 学校給食センター職員・ 栄養教諭等指導
⑥ 積込→配送	(××共同調理場方式学校のみ××)	公社再委託業者運転手
◆ 配膳室・受所	調理業務員	公社再委託業者臨時職員
⑦ 教室での配食 →喫食 →後片づけ	児童又は生徒 ◎ 教諭指導	生徒又は児童 ◎ 教諭指導
⑧ 回収	(××共同調理場方式学校のみ××)	公社再委託業者運転手
⑨ 洗浄・消毒保管	調理業務員	公社調理員

※「栄養教諭等」＝栄養教諭及び学校栄養職員

※「公社」＝財団法人福岡市学校給食公社

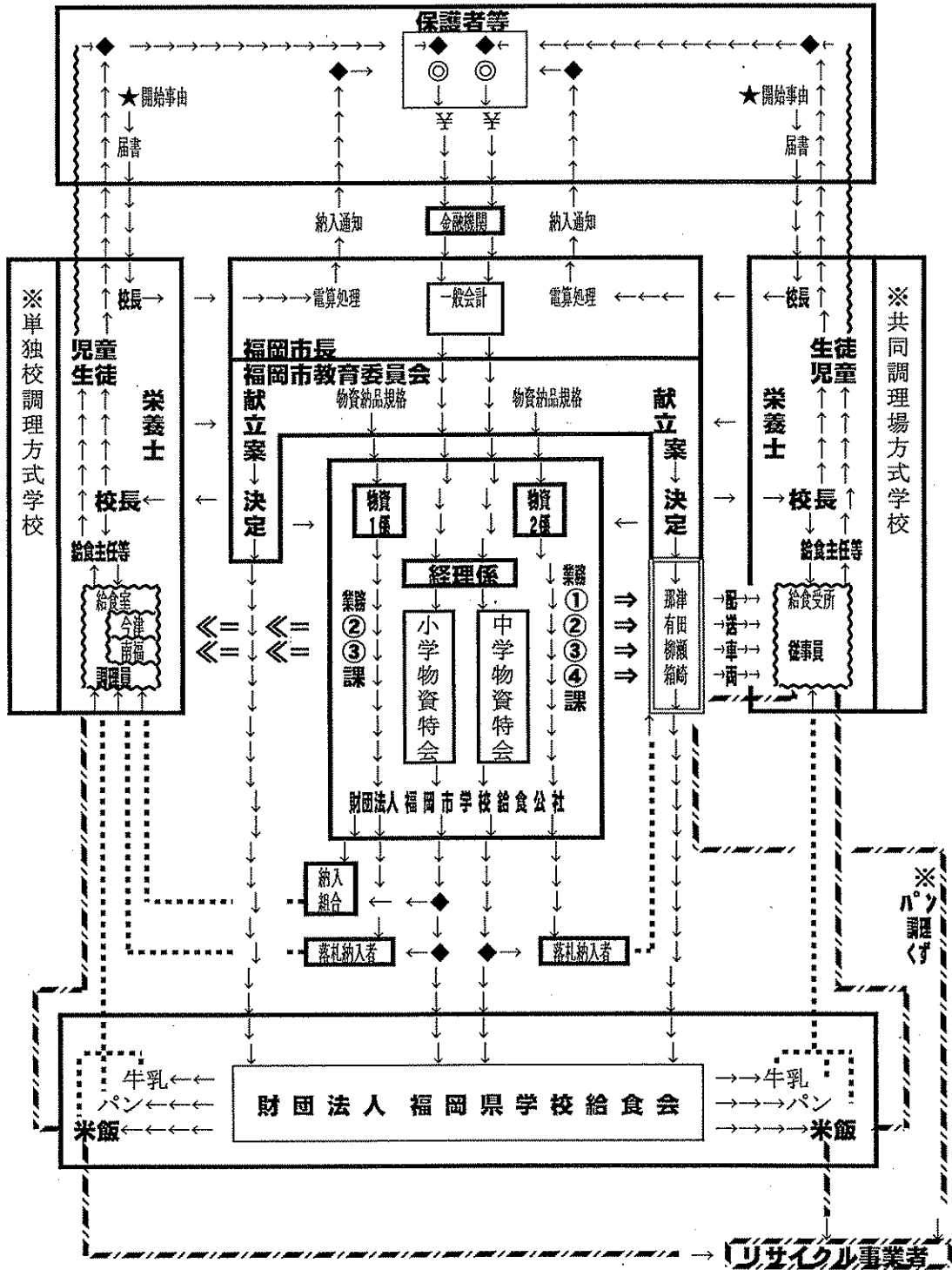
給食のしくみ

【線種凡例】

- ア →→→ : 金・献立・給食の流れ
- イ ..... : 納入物資の流れ
- ウ <=> : 公社職員の派遣
- エ ... : リサイクル対象残滓の流れ
- オ ~~~~ : 児童生徒の喫食感想の流れ

【調理場等凡例】

- 小学校の給食室と調理室・中学校等の給食受所
- 福岡市立学校給食センター4施設(共同調理場)



(2) 福岡市学校給食公社職員の勤務納入業者数等

自校調理場方式(小学校、離島中学校、照葉中学校)

業種	品目	購入方式	組合名	組合員数	市内許可数 (平成19年度)
パン類	市規格パン	-	福岡市学校パン給食組合	4	菓子製造業(パン)57
醤油・ソース類	醤油、ソース	価格協議	福岡市学校給食醤油類納入組合	8	醤油製造業11 ソース製造業11
味噌類	米味噌、麦味噌、赤だしみそ	価格協議	福岡市学校給食味噌納入組合	5	みそ製造業12
豆腐類	豆腐、焼豆腐、薄揚げ、厚揚げ	価格協議	福岡市学校給食豆腐納入組合	17	豆腐製造業65
こんにやく類	こんにやく、糸こんにやく、しらたき	価格協議	福岡市学校給食こんにやく納入組合	7	-----
食肉類	牛肉、豚肉、鶏肉	価格協議	福岡市学校給食食肉納入協同組合	34	食肉販売業(一般)465
水産練り製品	かまぼこ、ちくわ、天ぷら、野菜入り天ぷら	価格協議	福岡市学校給食水産練り製品納入組合	4	魚介練り製品製造業43
青果	野菜、くだもの、もやし	価格協議	福岡市学校給食納入事業協同組合	15	-----
一般物資	サラダ油、ハム、缶詰、乾物、加工品、冷凍品、菓子、デザート、ジャムなど	入札・品質及び価格	なし	登録業者数	市内業者数
				29	-----

共同調理場方式(中学校(離島、照葉は除く)、知的特支校等)、肢体不自由特支校

業種	品目	購入方式	登録業者数	市内許可数 (平成19年度)
パン類	調理パン、焼菓子	随意契約	4	菓子製造業(パン)57
醤油・ソース類	醤油、ソース	品質および価格	4	醤油製造業11 ソース製造業11
味噌類	米味噌、麦味噌、赤だしみそ	品質および価格	4	みそ製造業12
豆腐類	豆腐、焼豆腐、薄揚げ、厚揚げ	品質および価格	4	豆腐製造業65
こんにやく類	こんにやく、糸こんにやく、しらたき	品質および価格	4	-----
食肉類	牛肉、豚肉、鶏肉	入札	14	食肉販売業(一般)465
水産練り製品	かまぼこ、ちくわ、天ぷら、野菜入り天ぷら	品質および価格	7	魚介練り製品製造業43
青果	野菜、くだもの、もやし	入札	7	-----
一般物資	サラダ油、ハム、缶詰、乾物、加工品、冷凍品、ジャムなど	入札・品質及び価格	43	-----

参考1：購入方法

① 食材料の購入：「福岡市学校給食用物資納品規格」により、品質・食品添加物の禁止及び制限・納入条件等を定める。

② 物資調達：学校給食用物資納入業者を指定し、物資調達を行う。

③ 購入方法：福岡市の献立指示に基づき、物資選定会での審議を経て、次の3種類のいずれかの方法にて購入する。

【入札】価格競争のみで調達可能な規格品の場合

【審査】味・形・鮮度・色・食感について銘柄に差がある場合（見本と価格を総合評価）

【協議】1業者での調達配送困難物資の組合調達制の場合及び相場変動が大きい場合

※納入組合と卸売業者の間で行う予約相対取引

【相対】品薄で、供給が不安定な物資を事前に確保する必要がある場合

（※主にタマネギや果物について良質で同等な品が揃いにくい時期に実施）

参考2：青果類の納入組合

福岡市学校給食納入事業協同組合（昭和35年度設立→約170業者を88に整理）

月単位の価格協議制（1事業者での納入困難+相場変動が大きく予測難しい・リスク大）

参考3：主要青果4品目（小学校使用重量順）

①たまねぎ ②キャベツ ③にんじん ④じゃがいも

参考4：価格・入札制度検討歴

平成17年度 小学校給食物資選定検討委員会（教委4人+公社：計9人）

6月～9月・10回の審議・精通者ヒアリング実施 →主要4野菜：1.46倍（小/中）

参考5：平成18年度包括外部監査の指摘（19年3月報告書）

- ・ より適正な価格水準で契約が行われるよう、業者選定方法の透明化
- ・ 物資価格に含まれている地産地消保護等政策的負担の保護者への転嫁の合理性懸念

参考6：入札制度への移行に関する留意点

① 近隣自治体では、価格低減化の目論見とは反対に、納入価格は上昇し品質も劣化した事例もあり、慎重な検討が必要。

② 価格競争と基本的に相容れがたい現行の地産地消の推進は、価格協議制の上に成立している面もあり、地産地消の推進の担保措置等も必要。

③ 約150施設への当日朝納品と不良品取替リスク対応の可能性見極めも必要。

参考7：青果類納入組合の功績

① 小学校給食開始時点の安定的な食材調達

② 以来約50年間にわたる大事故無しでの安定的物資納入

③ 地産地消の推進

参考8：「今後の青果類調達のあり方検討委員会」の設置の必要性

① 手順の納得性確保：検討プロセスの透明性確保

② 内容の実現性確保：検討結果のPTA代表や有識者等による検証等

※ 全市的な小売業者数の増加、流通網の発達及び納入組合の今後果たすべき役割等

備  
考

(3) 平成17年度福岡市学校給食公社における検討結果等

平成18年2月21日

福岡市教育委員会  
学校給食課長 古原 孝士 様

財団法人 福岡市学校給食公社  
事務局長 柴 田 稔

小学校給食物資 (青果・食肉)の規格の見直しについて (依頼)

貴委員会から受託し、当公社で実施している小学校用給食物資の購入に関し、主要野菜を中心として中学校物資に比して、かなり割高となっているため、その原因を調査し改善されるよう申し入れがあったことを受け、当公社におきましては、貴委員会の協力を得ながら、下記のとおり方針を定めましたのでお知らせいたします。つきましては、その一環として別添のとおり納品規格の見直しをお願いします。

記

1. 納品規格 (別途指示) 見直し案 . . . . . 別添
    - (1) 青果規格 (主要4品目)
    - (2) 食肉規格
  
  2. 今後の取扱方針 . . . . . 別添
    - (参考)
- 小学校給食物資の購入に関する検討結果 . . . . . 別添

# 規格（別途指示）見直し案

## （1）青果規格（主要4品目）

内 容				
【改善策】				
① 中学校の規格（別途指示）に合わせる。				
青果規格				
区分	じゃがいも	にんじん	たまねぎ	キャベツ
中学校規格	優（B）以上 M又はL	優（B）以上 M、L、2L	等級指定なし L以上 甲高	等級指定なし L以上
【効果】				
中学校との購入単価差が縮まる。				

## (2) 食肉規格

### 内 容

#### 【改善策】

- ① 現在の一般市場で通用している規格に合わせる。
- ② 特に牛肉においては去勢を外し、月齢を入れる。

#### 食肉規格

区分	牛 肉	豚 肉	鶏 肉
市 納 品 規 格	日本食肉格付協会の 格付 国産牛 規格B-3以上 月齢13~30月	日本食肉格付協会の 格付 国産豚 格付 枝肉 上以上 または部分肉 I	国産ブロイラー 若鶏 正肉
別 途 指 示	冷凍流通品は加工後 1年以内のもの	冷凍流通品は加工後 1年以内のもの	冷凍流通品は加工後 1年以内のもの

#### 【効 果】

食肉の安定調達を促進する。

## 今後の取扱方針

### 財団法人 福岡市学校給食公社

項目	内容	所管
食肉・青果の規格の見直し	単価引き下げの一案として、給食課にたいして、検討会の結果を報告し、規格（別途指示）の見直しの検討を依頼する。（依頼文：別添）	市教委
青果の購入方法の見直し	<p>入札によって購入すると、一般的には競争原理により低廉な価格での購入が可能となるが、次の課題について整理する必要がある。</p> <p>① 入札制とした場合における、その対応業者が、継続的に市内にどの程度存在するか関係業者の調査及び業界等との調整が必要。</p> <p>② 45年来の取引業者である現組合との契約を破棄することに伴う課題の整理、対応。</p> <p>③ 購入単価が、既に入札を実施している北九州市を含む近隣他都市は、福岡市に比べて高額であり、入札によって現在の単価水準が維持できるのか調査が必要。</p> <p>④ 前日納品の中学校と違い小学校は冷蔵設備等の関係で当日の朝に納品する必要があるため、144校（+離島中学校3校の147校）に仕分けして納品することが入札業者で可能かどうかの調査が必要。</p> <p>⑤ 入札業者は品質不良や数量不足等のクレーム発生時、納品当日に複数の学校に対して対応可能かどうかの調査が必要。</p>	市教委 公社
一般物資選定会の価格表示	価格表示の利用方法や、選定方法についての説明を選定委員に徹底する。	公社
食肉青果選定会に外部有識者を加える	選定会設置要項を検討し、有識者の人選や委嘱について検討する。	公社



平成18年1月17日

理事長 儀田晴雄様

物資課長 秋吉正博

小学校用給食物資の購入に関する検討結果について（報告）

平成17年5月27日小学校給食物資の購入に関する検討会を設置し、下記の事項について検討を行い、別紙のとおり結論を得ましたので報告します。

記

- (1) 青果・食肉類納品規格の明確化と見直し（規格の統一化等）
- (2) 青果・食肉類の選定方法の再評価（契約方法、購入単価の決定方法等）
- (3) 納入業者の評価
- (4) 一般物資選定会の選定方法の再評価（選定方法等）
- (5) 選定会組織の再評価（組織の見直し等）
- (6) その他必要な事項